

NO. 51

## 目 次

1. 白山のゴマシジミ	山岸善也(1)
2. 医王山にてムラサキシジミを採集	勝海雅夫(1)
3. オオチャイロハナムグリを採集	松井正人(1)
4. 白峰村大杉谷にてツマジロウラジャノメを確認	吉村久貴・ 吉村貴己(2)
5. 加賀海岸で見られた蝶	吉村久貴(2)
6. フジミドリシジミの異常型を採集	中西重雄(3)
7. ナラガシワよりゼフの幼虫を採集	中西重雄(3)
8. 白山南竜馬場で見られた蝶	吉村久貴(4)
9. ツキワクチバの石川県下の採集例	野中勝(4)
10. 石川県でナマリキリガを採集	野中勝(5)
11. 気になる記録	松井正人(5)
12. 石川県におけるオサムシ3種の記録	野中勝(6)
13. Self introduction	中川邦隆(6)
14. 大雪の中、フクラスズメを採る	嵯峨井淳郎(7)
15. 新連載 オサムシコーナー：予告編	野中勝・ 中西重雄(7)
16. テクニカル コーナー<菅笠のすすめ>	金子二久(8)
17. 【シリーズ案内&書評】第10回 冬芽でわかる落葉樹	嵯峨井淳郎(8)
18. 採卵記録票	松田俊郎(9)
19. 採卵記録票	野中勝(9)
20. 採卵記録票	松井正人(10)

白山のゴマシジミについて少し古い記録があるので報告しておく。

ゴマシジミ 1♂ 1976年 8月12日 石川県尾口村岩間噴泉塔

採集場所は岩間噴泉塔群を結ぶ急な斜面の小道である。個体は左の前翅および後翅に若干のキズがみられた。食草については調べていない。著者はその後3回8月上旬に噴泉塔を訪れたが採集できなかった。

医王山にてムラサキシジミを採集

勝 海 雅 夫

石川県金沢市医王山菱広峠（1983年 6月22日）にて、ミズナラ葉上より静止中の本個体 Narathura japonica MURRAY ♀を採集した。

食樹に関して医王山に落葉樹（ミズナラ、ブナ、コナラ等）が多く常緑樹が誠に少ないなどから推測して、コナラ等を食しているのかもしれない。一応調査が必要だと考えられる。（大阪～京都においてコナラ及びナラガシワへの産卵は目撃している。）

オオチャイロハナムグリを採集

松 井 正 人

過去にムモンアカシジミが採れている中宮温泉上部で、ムモンアカシジミの再記録を作ろうと暑い中継ぎ竿を振り回している時、背後から何やら変わった山中ではあるまじき匂いが流れてきた、ふと振り返るとそこにはオオチャイロハナムグリがいた。

筆者は過去に一度オオチャイロハナムグリを採集しているので、見たとたんにすぐにそれとわかった。彼はブナの大木の地上1m50位の所で、これからウロの中に入り込もうとしていた途中の様であり、ウロの方へ向かって歩いていた。彼が発見されたのは、彼が放つジャコウ臭（原色日本昆虫図鑑による、筆者には言い表わせない匂い）によるもので、この匂いは筆者の手にもものりうつりなかなかとれなかった。また黒っぽい彼が、白っぽいブナの幹にいたことが、振り返ったとたんに目に映ったものと思われる。

石川県にはオオチャイロハナムグリの記録がほとんど無いので、ここに記録しておく。蛇足ではあるが本命のムモンアカシジミは、影すらもアリすらも見付けることが出来なかった。

オオチャイロハナムグリ lex

1984年 7月28日 石川郡吉野谷村中宮温泉白山中宮道階段上

本年(1984)松田俊郎氏によってムモンアカシジミが白峰村大杉谷にて採集されたと聞き、8月11日に会員諸氏と共に現地に出向いた際に数種のチョウを確認したので報告する。

林道の数ヶ所でムモンアカシジミを採集していると、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハがさかんに飛んでおり、他の会員にはミズイロオナガシジミ、アカシジミなどもネットに入ったようであった。帰路林道をフラフラと飛ぶ黒っぽいチョウをネットしたところツマジロウラジャノメ1♀であり、白紋のはっきりした第2化の個体とおもわれる。かなり汚損がはげしいので、確認後逃がしてやった。

ツマジロウラジャノメは最近医王山でも記録されており(⑨1)、捜せばもっと記録が増えると思われる。

(⑨1 嵯峨井淳郎 翔 NO.33 医王山にてツマジロウラジャノメを採集)

データー 1984年 8月11日 石川郡白峰村大杉谷林道

採集 ムモンアカシジミ 1♂5♀♀

目撃 ツマジロウラジャノメ 1♀

キチョウ、モンキチョウ、ミドリヒョウモン♂、カラスアゲハ♂  
ミヤマカラスアゲハ♂、アカシジミ、ミズイロオナガシジミ

—— 加賀海岸で見られた蝶

吉村久貴

1984年 9月24日県内ではほとんど記録のないツマグロキチョウを求めて、加賀海岸の橋立、加佐岬、黒崎方面を歩いてみた時に、何種類かの蝶を確認したので記録しておく。

加佐岬周辺は切り立った崖の上に野草の繁茂する非常に環境の良い所で、6月頃にはきれいな花が咲き乱れる。秋にはあまり花も咲いていなく、ハギの花にはキチョウが多数吸蜜にきていたが、ツマグロキチョウはネットできなかった。その他、夏眠を終えたヒョウモン類がさかんに飛び回っていた。

データー 1984年 9月24日 石川県加賀市加賀海岸加佐岬

採集 ウラナシジミ 1♀ モンキアゲハ 1♂

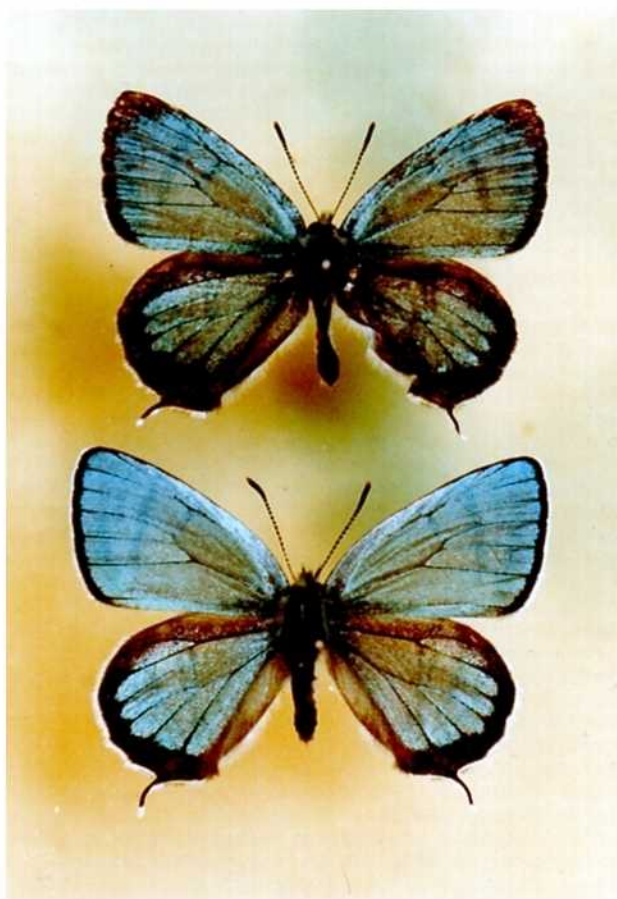
センチコガネ 1ex

目撃 アオスジアゲハ、ナミアゲハ、キアゲハ、キタテハ、  
コミスジ、ミドリヒョウモン、ベニシジミ、ルリシジミ  
スジグロシロチョウ、ミヤマクワガタ1♂(汚損)

1983年6月20日金沢市医王山にてフジミドリシジミの異常型を採集したので報告しておきます。

この日は朝から風雨が強く採集には適さない日でしたが、どうしてもフジミドリが欲しくて、雨にもかかわらず夕方5時頃からネット3本持ち出掛けました。雨や風の日、ゼフ達は風当たりの弱いような場所(下草や小枝等)に止まっているようで、下草や小枝をたたいて採集しました。

この日採集したフジミドリ10exsの中から前翅端黒帯が太くなったツマグロ個体3♂を得ました。尚、この個体はすべて同一場所より採集したので、おそらく同一母蝶から産卵されたものと思われます。



データー

フジミドリシジミ 10exs

アイノミドリシジミ 1♀(AB型) (上 ツマグロ個体 下 普通個体)

1985年3月20日餌用にと取ってきた、金沢市観法寺のナラガシワの小枝より、アカシジミ1幼を採集する。本県におけるナラガシワからのゼフィルス採幼記録が無いようなので報告しておきます。

尚、飼育の結果5月21日に1♀が羽化しました。

1984年 8月14日、白山南竜方面へ高山植物の撮影に登った際、数種の蝶を目撃確認した。

別当出合より砂防新道を経由して約2時間で甚ノ助ヒュッテに到着。この間アサギマダラとヒメキマダラヒカゲ程度しか目に入らなかった。甚ノ助ヒュッテ上部のお花畑にはシモツケソウの赤い花が咲き乱れ、ポツポツとハクサントリカブト、イブキトラノオ、サラシナショウマなどがそれに混じって咲き、背の低いクロユリ、ハクサンコザクラ、ハクサンフウロなどが草の中に咲いている状態で写真撮影には最適であったが、ベニヒカゲはもう汚損しておりどれもかすれた茶色で時期既に遅しといった感があった。

南竜馬場ではキベリタテハとアカタテハが占有行動をしており、アサギマダラもフワフワ舞っていた。昼食をとった沢浴にはモンキチョウが飛んでいて、フウロソウでは吸蜜しているセセリ 1exをみつけた。

予定では南竜山荘に1泊するつもりだったが、あまりにも人が多いので下山することにした。帰路甚ノ助ヒュッテの下で竹谷宏二氏と出会った。別当出合まで下るとキチョウとミヤマカラスアゲハが飛んでいた。

目撃記録 1984年 8月14日

甚ノ助ヒュッテ～南竜馬場間

アサギマダラ、ベニヒカゲ、アカタテハ、キベリタテハ、モンキチョウ、セセリ  
別当出合～甚ノ助ヒュッテ間

アサギマダラ、ヒメキマダラヒカゲ、キチョウ、ミヤマカラスアゲハ

ツキワクチバ *Artena dotata* (Fabricius)は南方系の蛾で、日本各地で記録されているものの偶産蛾と考えられている様である。筆者は石川県において下記の如く本種を採集しているので報告する。

1ex 石川県石川郡尾口村岩間温泉 1983年8月20日 筆者採集 新鮮個体  
1ex 石川県石川郡白峰村市ノ瀬 1984年8月15日 筆者採集 汚損個体

なお、富沢章氏は本種の石川県における未発表記録を有しておられるとの事である。日頃、蛾類についていろいろと御教示いただいている富沢章氏に感謝する。



これまで石川県より記録のなかったナマリキリガ *Orthosia satoi* (Sugi) を下記の様に採集したので報告する。日本産蛾類大図鑑(1982、講談社)によれば、本種の産地は東日本に偏っており、この記録は西限記録となる様である。末筆ながら石川県での記録の有無について御教示下さった富沢章氏に厚くお礼申し上げる。

1 ♀ 石川県石川郡尾口村岩間温泉 1984年5月27日 筆者採集

気になる記録

松 井 正 人

石川県内でいささか気になる記録が幾つかあるので、ここに報告しておく。尚、採集者、確認者共筆者自身である。

エルタテハ 1980年 8月24日 尾口村岩間丸石谷林道 1 ex確認  
林道上に出来た黒いシミ(重油をこぼした跡?)に飛来していた個体を確認した。本種の確実な記録はほとんど無いと思われる。

ツマジロウラジャノメ 1984年 9月29日 金沢市倉谷 1 ♀確認  
白山地方では多く見られるが、金沢市内の記録はほとんど無いと思われる。

ヒメキマダラヒカゲ 1972年 8月 5日 金沢市国見山 1 ex採集  
本種も前種と同じく、金沢市内ではほとんど記録が無い。

スギタニルリシジミ 1978年 6月 1日 金沢市倉谷 1 ♂採集  
1979年 5月 2日 金沢市日尾 3 ♂採集  
1981年 5月 5日 河内村下吉野 1 ♂確認

近年あちこちで発見されている。食樹のトチがある谷筋には分布する可能性が強い。割と広く石川県内に分布しているようである。

スジボソヤマキチョウ 1978年10月 1日 珠洲市三崎町森腰片姫社 1 ♂確認  
1978年10月 1日 珠洲市寺家町須須神社 1 ♂確認  
1978年10月 8日 加賀市橋立海岸 1 ♂採集  
1984年 4月25日 金沢市宮野 3 幼採集

山地性の蝶かと思っていたが、海岸近くでも見ることができる。石川県一帯に広く分布していると思われる。

1. アオカタビロオサムシ *Calosoma inquisitor cyanescens* (Motschuhlsky)

1 ♀ 金沢市大平沢 1980年 5月12日 松本和馬採集

本州では稀な種であり、北陸地方における採集例も極めて少ないと思われる。

2. クロカタビロオサムシ *Calosoma maximowiczi* (Morawits)

1 ♂ 金沢市医王山 1982年 7月11日 筆者採集

アベマキの樹幹を歩行中のものを採集した。本種も石川県では少ない様で、  
筆者は他に採集していない。

3. オオオサムシ *Carabus dehaanii* (Chandoir)

1 ♂ 金沢市医王山 1981年 7月 5日 筆者採集

県西部には広く分布し個体数も多いが、小宮 1970(1)では、分布は犀川西岸  
までとなっている。夜間灯火の下を歩行中のものを採集したが、これは現在ま  
での所日本海側の東限記録になると思われる。又、採集地点は富山県境まで3  
km位であり、これまで未記録の富山県(2)から今後本種が発見される可能性は  
かなり強いと思われる。

貴重な標本を恵与された松本和馬氏に心から感謝の意を表したい。

(1) 小宮次郎(1970) *Insect Magazine* 76 22~64

(2) 田中忠次(1979) *富山県の昆虫* 342~345

Self introduction

中 川 邦 隆

自 宅 ☎658 神戸市東灘区住吉宮町 5-9-23 ☎ 078-821-6742

単身赴任先 ☎221 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1 三ツ沢社宅 1-6

血液型 A型 昭和14年金沢生まれ

高校時代まで金沢で過ごしました。まだ両親が金沢に健在です。子供の頃、  
アチコチで昆虫を採り歩き、故郷の虫には懐かしさで一杯です。年に一回は帰  
郷しますので、その節はよろしくお願いします。

昆虫はなかでも特に甲虫(カミキリ、オサムシ)が好きです。



1984年12月27日、この日の朝愛車の右後輪が有松付近でパンクし、おりしも降りしきる雪の中でやむ無く普通タイヤに変え、刺さった釘にブツブツ文句を言ってウサをはらした男ひとり。

ズルズル滑りながら何とか職場までたどり着き、帰りまでに積雪が少なければ良いがと思案していたにもかかわらず、雪は遠慮会釈もなしに降りしきる。

帰途立ち寄った某ガソリンスタンド(金沢市光りヶ丘3丁目)でパンク修理を終えるまでのほんの15分程度の間、フラフラと翔んできた蛾が1頭。羽化したばかりのような新鮮な個体で、カトカラを採集しているときまってまぎれこんでくる奴。それはフクラスズメであった。しかしこの寒さ(おそらく摂氏2~3度ぐらい)の中、何処で羽化したものなのか。フクラスズメは越冬するのであろうか? スタンドの街燈の灯りはかなり明るいため、秋に羽化して飛来したものがそのまま居座って居たものか? …… と思いをめぐらしたが、フクラスズメ君の生い立ちが雪中パンクで頭にきている者に解る訳がない。

それでもフクラスズメの標本は持っていないし、新鮮な個体だったから展翅するかと持ちかえった。フクラスズメの1生態記録として報告しておく。

#### 新連載 オサムシコーナー : 予告編

野中 勝・中西重雄

今、百万石蝶談会の中で最も狂っているのはオサムシグループ(といっても我々2人だけだが)だろう。何しろ日曜毎に重いトラップ液をかついで2,000mの山に登り、それ以外にも暇さえあれば毒ビン、ピンセットを手に各地の常設トラップを見回るといふのだから、その狂い様は尋常ではない。事の始まりは昨秋、筆者の一人MNが東日本オサムシ研究会のオサムシ・マップなる会誌を手にしたことによる。そこに見られる多くのオサムシ病患者の狂い様にいたく感銘したMNは、やがて日曜毎のオサムシ掘り行というオサムシ病の初期症状を示しだした。彼はすぐに石川県が一人で掘るには少し広すぎることに気が付き、この病を誰かに感染させることを目論んだ。すぐに感染し、しかも重病になり易いということで白羽の矢をたてられたのがSN。目論みはずれるはずもなく、上記の如き二人の重病患者の出現となった次第である。石川県のオサムシ相は殆ど調べられておらず、二人の重症度と合わせて、今後この分野で急速に新知見が集積されることは疑いない。そこで次号からオサムシ・コーナーを新設し、日に日に県内のオサムシ相が解明されてゆく興奮を皆様に伝えたいと思う。既に多くの驚くべき知見が得られている。詳細は次号から発表してゆくが、さわりだけを記すと「能登島マイマイ天国」、「トヤマオサムシ驚異の実態」、「アオカタビロは普通種か?」等々となる。乞う、ご期待。今、石川県ではオサムシが熱い。

諸君！ 君達に一つ聞きたい事がある。(ここで言う諸君とは、小生が君達と言える年恰好の人達を指す。) 諸君が先行き年をとった時、どの様な事象でそれを思い知らされると考えますか。

階段を昇るのがシンドイ、朝起きるのが早くなった、蝶をネットする率が下がった等々あると思いますが、小生の場合は雨の時だった。まだ若いと自負していた頃(今考えれば“まだ若い”と考えるはすなわち老いの始まりですが)片町を歩いていたら雨が降ってきた。最初の雨滴がポツンと頭皮に直接あたった。すごいショックだった。思わず立ちすくんだ程で、今だにその時の情景を憶えている位だ。

それからは山で使う帽子に神経をつかいだした。手拭い、テニス帽、登山帽、ムギワラ帽(ビニールで編んだのは比較的よかった)と探してみた。結果として風の良く通る事、つばの広い事、値の張らない事等より、今は菅笠を愛用している(欠点はカサバル事、強風に弱いこと)。釣道具屋に売っている折りたたみの雨傘も悪くないがつばが狭い。

小生尾根歩きの時、ヤブこぎの時以外は殆ど使用している。少々の雨なら大丈夫だ。

まあ今はよいでしょう 心配になったら試みて下さい。

## 【 シリーズ案内&amp;書評 】

## 第10回 冬芽でわかる落葉樹

嵯峨井 淳郎

2年くらい前の出版物ではあるが、採卵軍団には至極都合の良い本なので紹介しよう。

本書はそもそも林業技術者必携の書として発行発表されたものであるが、カタログにもあるとうり中学、高校生から造園技術者に至るまで幅広く役立つ本であると同じに、我々ムシ屋にも非常に役立つと思われる。

著者は亀山 章(信州大学農学部助教授・農学博士)・馬場多久男(同学部助手)の両氏で、我蝶談会幹事殿松井正人氏は早速本書を購入されページをひもとき、いにしへの信大農学部林学科時代の夢大きかった時代を思い出しておられたようである。

我国に産する落葉樹 400種を収録し、1600余枚のカラー写真を使い検索は図版で引け、わかり易い解説はまさに10年がかりで作り上げた落葉樹図鑑の決定版とも言えよう。

A5版・284頁・オールカラー・定価2500円・信濃毎日新聞社刊。

申し込みは日本林業技術協会へ直接に。

チラチラ見たい人は、松井正人信大OBに見せてもらうとよい。閲覧料タダ。

採卵記録票

採集者 NO.	松田俊郎 (11)	松田俊郎 (12)	松田俊郎 (13)	松田俊郎 (14)	松田俊郎 (15)
場所	大杉谷・北沢池道	沢池道	獅子吼高原	五谷	沢池道
2.5万地図名	加賀市(瀧) (4)	加賀市(瀧) (4)	能登 (20)	加賀市(山) (8)	加賀市(瀧) (4)
年・月・日	1984. 9. 30	1984. 10. 7	1984. 10. 20	1984. 10. 27	1984. 11. 3
種名	クモリノシジミ 9 (1株)	クモリノシジミ 48	クモリノシジミ 14	クモリノシジミ 12	クモリノシジミ 25
食数	クモリノシジミ 15 (1株)		クモリノシジミ 8		
食記	野中・西谷・北沢池道の クモリノシジミは、 池道の北沢池の 岸に生える。採卵は 採卵した。卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。	野中・西谷・北沢池道の クモリノシジミは、 池道の北沢池の 岸に生える。採卵は 採卵した。卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。	野中・西谷・北沢池道の クモリノシジミは、 池道の北沢池の 岸に生える。採卵は 採卵した。卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。	野中・西谷・北沢池道の クモリノシジミは、 池道の北沢池の 岸に生える。採卵は 採卵した。卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。	野中・西谷・北沢池道の クモリノシジミは、 池道の北沢池の 岸に生える。採卵は 採卵した。卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。 その時、卵は水に 入ると孵化する。

採卵記録票

採集者 NO.	松田俊郎 (16)	松田俊郎 (17)	松田俊郎 (18)	松田俊郎 (19)	松田俊郎 (20)
場所	沢池道	鶴岡18尾	若尾保谷	鹿田川野野	大日ヶん
2.5万地図名	加賀市(瀧) (4)	兼生 (22)	加賀市(瀧) (4)	兼生 (22)	尾小屋 (13)
年・月・日	1984. 11. 10	1984. 11. 17	1984. 11. 23	1984. 11. 24	1984. 12. 1
種名	クモリノシジミ 12	クモリノシジミ 11	クモリノシジミ 9	クモリノシジミ 約50	クモリノシジミ 21
食数	クモリノシジミ 4				クモリノシジミ 11
食記	他の人から聞くと、今 の沢池道のクモリノシジミは 池道の北沢池の岸に生える。 採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	鶴岡の獅子吼へは、採 卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	野中・西谷・北沢池道の クモリノシジミは、池道の 北沢池の岸に生える。採卵 は採卵した。卵は水に入ると 孵化する。その時、卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。	鹿田川の北沢池の岸に生 える。採卵は採卵した。卵は 水に入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	大日ヶんの北沢池の岸に生 える。採卵は採卵した。卵は 水に入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。

採卵記録票

採集者 NO.	野中 (11)	野中 (12)	野中 (13)	野中 (14)	野中 (15)
場所	全沢川湯涌温泉	厚川ヶん	七尾市石動山	押水町宝蓮山	全沢川内間
2.5万地図名	24 湯涌	23 鶴尾	28 能登半島	24 宝蓮山	26 全沢
年・月・日	1984. 11. 23	1984. 11. 23	1984. 11. 25	1984. 11. 25	1984. 12. 2
種名	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)
食数	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)
食記	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。

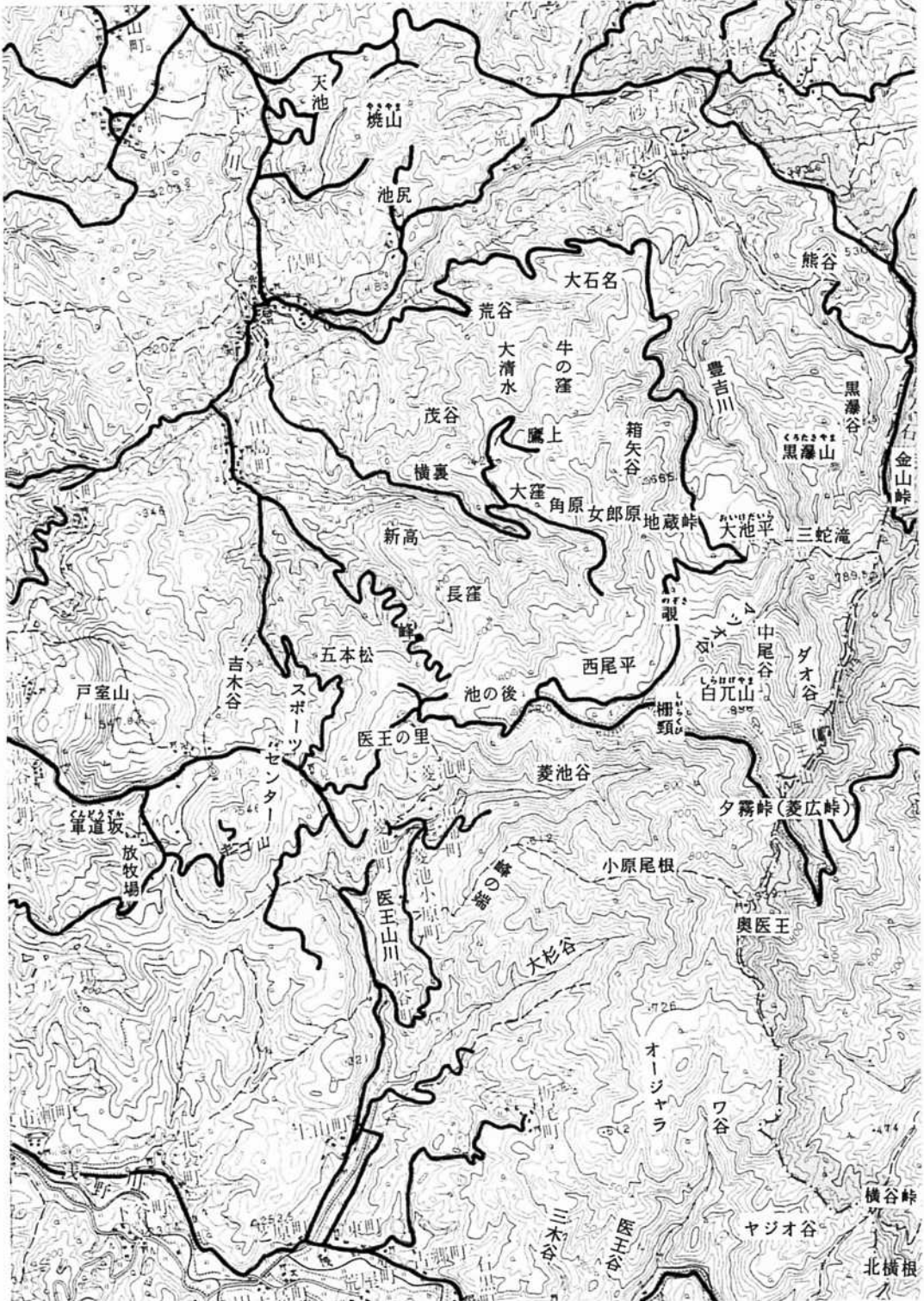
採卵記録票

採集者 NO.	野中 (16)	野中 (17)	野中 (18)	野中 (19)	野中 (20)
場所	富山県 富山県 利根川	小松市 新井山	鳥越村 大日ヶん	輪島市 宝蓮山	吉野村 中野川
2.5万地図名	12 新井	13 尾小屋	12 宝蓮山	14 新井	
年・月・日	1984. 12. 2	1984. 12. 9	1984. 12. 9	1984. 12. 16	1984. 12. 31
種名	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)
食数	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)	クモリノシジミ 1 (2株)
食記	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。	採卵は採卵した。卵は水に 入ると孵化する。その時、 卵は水に入ると孵化する。 その時、卵は水に入ると 孵化する。





# 医王山付近図



医王山付近の道路と地名の詳細図です、採集活動に役立ててください。



とぶ NO. 51

1985年6月7日(金)発行

発行 金沢市大場町東871の15 松井正人方 百万石蝶談会

編集・校正 松井正人